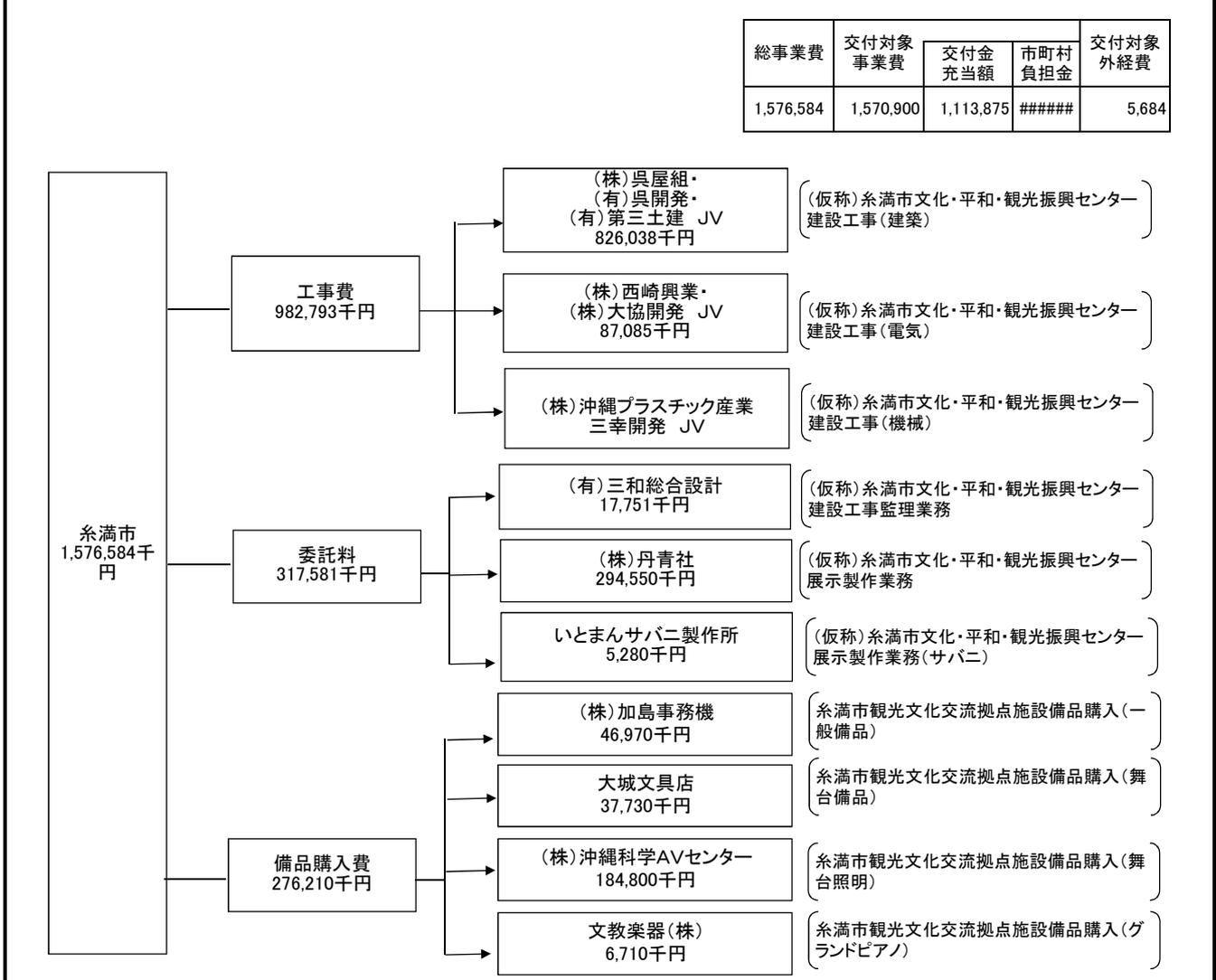


市町村名		糸満市					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	文化交流・情報発信拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ	
担当部署名	経済部 観光スポーツ推進課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流	
事業内容	糸満市の歴史的魅力や観光情報の発信と文化芸術の保全・継承の場及び観光客と市民の体験・交流活動が可能な拠点の確保を図るため、文化交流・情報発信拠点施設の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度(繰越含)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	
		(a)当初予算額	1,508,830	704,275		1,642,251	
	(b)予算現額	1,437,665	1,492,000		1,642,251		
	(c)増減額(b-a)	(71,165)	0		0	0	
	(d)繰越額		0	951,319	0	294,550	
	A.計(b+d)	1,437,665	1,492,000	951,319	1,642,251	294,550	
	B.執行済額	1,437,665	537,780	951,319	1,282,035	294,549	
	うち交付金充当額	1,149,836	430,224	699,325	1,021,079	92,796	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	36.0%	100.0%	78.1%	100.0%	
予算の状況の説明	令和2年度は、令和元年度繰越分を執行したものの、電力会社との調整に不測の日数を要し、951,319千円を令和3年度に繰り越した。 また、令和3年度は展示作成業務の映像、音響の撮影に市の伝統行事の撮影が含まれていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事から、294,550千円を繰り越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事2年目の完了	目標	建築・展示・管理運営実施計画の策定	建築・電気・機械・工事監理・磁気探査業務	建築・電気・機械・工事監理・展示製作	建築・電気・機械・工事監理・展示製作	
		実績	完了	完了	完了	完了	
目標							
実績							
達成状況説明	令和1年度より実施した、建築・電気・機械・工事監理・展示制作業務を令和3年度をもって完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(5年度)
	・(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事の完了 ・展示制作業務の完了	目標	()	建築・電気・機械・工事監理・磁気探査業務	建築・電気・機械・工事監理・展示製作	建築・電気・機械・工事監理・展示製作	()
		実績		完了	完了	完了	
	【参考指標】 ①地域発信エリア(常設展示室、企画展示室)年間利用者約25,000人②創造発信エリア(大ホール、多目的室)年間利用者約40,000人③継承体験エリア(活動室、会議室)年間利用者約22,000人	目標	()	()	()	()	(97,000人/年)
	実績						
進捗状況説明	・令和元年度より実施した、建築・電気・機械・工事監理・展示制作業務を令和3年度をもって完了した。 ・工事が完了し令和4年5月より施設の本格供用を開始した。令和5年度の年間利用者数を97,000人/年として設定した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(施設の利用) ・新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなってきたこと事から、人の集まるイベントを実施することが可能となる。 ・令和4年度は年度途中からではあるが、目標を上回る利用者があった。令和5年度は目標値達成のため、誘客についてのさらなる取組が必要となる	(施設の利用者数) ・イベントの開催や情報発信の強化により広報活動を行い、更なる来場者数の増に繋げる。
	今後の取り組み方針	
(施設の利用) ・令和4年度に実施したイベントのリピート開催に向けて、4年度に実施した事業者へ案内を実施する。 ・市HP等を活用し、過去の活用事例など施設のPRを実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は入札残額であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	